

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	波の家魚住中央放課後等デイサービス	公表日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	国の指定基準を満たしたスペースを確保し、物品の整理整頓を心掛けています。	配置によっては狭く感じてしまうので、ニーズに合わせて配置を考えていきます。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	個別の対応が必要な利用者がいる場合、業務分担を行うなど、適切な職員配置になるよう心掛けています。	引き続き現状を維持していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	建物の構造上バリアフリー化ができないため、階段の見守りや安全面を考慮した支援を心掛けています。	相談室が一部屋でスペースも限られており、個別での対応が限定されてしまうので、優先順位を決めて部屋を使用していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	アルコール消毒、オスパン消毒など丁寧な清掃を行い、心地よく過ごせる環境を徹底しています。また、活動しやすい室内のレイアウトや掲示物なども工夫しています。	物の配置によっては活動スペースが確保できないことがあるため、ニーズに合わせて整理整頓していきます。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別の部屋が一つしかないので、順番に使用できるように優先順位を決めています。	引き続き現状を維持していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	法人全体で半年に一度の業務改善の為のレポート提出があり、その中で議題が挙がった意見は検討、改善を行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に一度保護者向け評価表を配布し、半年に一回の面談時にも保護者の意向を聞いています。	引き続き現状を維持していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	支援の仕方について都度相談しています。	全体で共有できる時間が少ないが、できるだけ情報共有する時間を設けていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			現在は行っておりません。	必要に応じて、取り入れていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	法人全体研修の内容は各施設に持ち帰り、担当者から職員に周知しています。	全職員に研修の内容を周知できる機会を設けていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	利用者に配布するだけでなく、ホワイトボードに掲示して誰にでも見やすい環境を整えています。	引き続き現状を維持していきます。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者との面談時に、前回の支援計画書に対しての振り返りを行い、現状を情報共有しています。その中で、新たな課題が出れば新しく目標設定を行い、支援計画を作成しています。	引き続き現状を維持していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日頃から利用者の得意不得意を把握、情報共有し、項目毎に利用者の課題と、課題に対しての支援内容を設定しています。	引き続き現状を維持していきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員がいつでも目標や支援内容を確認できるよう個別で支援計画を管理しています。	引き続き現状を維持していきます。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	支援計画と日々の利用者の行動観察を行い、気になることなど施設内で記録を残し、共有できるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	年に2度保護者面談、利用者との面談を実施しています。支援内容を振り返り、現状を情報共有しています。その中で、新たな課題が出れば新しく目標設定を行い、適切な支援内容に設定しています。	引き続き現状を維持していきます。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	前月にプログラムの計画を立て、その日の利用者の特徴や状況に合わせて毎日の活動プログラムを考えています。	全体で打ち合わせをする時間が取れない時があり、その時は担当がプログラムを立案しているが、全体で内容や役割を相談できるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	前月に行った振り返りの意見を参考に次月のプログラムの計画を立て、固定化しないように工夫しています。また、その日の利用者の特徴と状況に合わせて療育内容を変更しています。	引き続き現状を維持していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動は毎日行い、個別活動も定期的に順番に行っています。個別と集団を通しての計画書を作成し、計画に沿って支援しています。	引き続き現状を維持していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	支援内容や役割分担について支援開始前に確認しています。	全体で共有することが難しい時は個別でお伝えするなど、全職員に共有できる環境を整えていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	その日にあった出来事や、保護者からの伝達事項、利用者への支援内容については職員間で話し合い、記録を残しています。	引き続き現状を維持していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	未記入1 変わった様子や気付いたことなどを記録に残し、職員間で話し合うことで改善に繋げています。	全部の記録を取れているわけではないので、できる限り詳細に記録できるように努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に一回モニタリングを行い、保護者から現状を確認して、必要に応じて支援内容や目標を見直しています。	引き続き現状を維持していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	「4つの基本活動」が満遍なくできるように前月にプログラムの計画を立案しています。	現時点での交流は出来ていないが、11月の秋祭りで実施できると考えられます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	利用者が自分で内容を決められるように複数の選択肢を準備するなどして対応しています。	引き続き現状を維持していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者や支援員が出席し、支援内容の確認や方向性を話し合っています。	引き続き現状を維持していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて連携しています。	引き続き現状を維持していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	未記入1 学校との情報共有事項は、記録を残して適切な支援ができるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	未記入1 利用者が高校生なので、就学前の情報については主に保護者から聞き取りを行っています。	就学前の情報については、保護者から聞き取りを積極的に行っています。必要に応じて事業所や学校とも情報共有できるよう努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	未記入1 保護者の了承のもと、支援内容を移行先に伝え情報共有しています。	情報共有の徹底に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	未記入2 担当職員が協議会へ参加しています。	担当職員以外の職員も積極的に協議会に参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	3	年に一度秋祭りを開催し、地域間での交流を図っています。	秋祭り以外の地域間交流の方法について検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	サービス提供記録を通して保護者と日頃から情報を共有できるようにしています。また電話やメールでその日の様子を伝えたり、ご家庭での様子をお伺いして共通理解を図っています。	引き続き現状を維持していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	保護者会を開催し、研修や情報提供の場を設けています。	参加できなかったご家庭に対して保護者会で提供した資料を別途でお渡しする等、働きかけが出来るよう努めます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	面談時に説明しています。その場で質問等お受けし、納得されるまで説明を行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	年に2度利用者、保護者と面談を行い、ご家庭の意向を確認し、ご家族の意向に沿って計画を作成しています。	引き続き現状を維持していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談の時に、保護者と支援計画の内容を振り返りながら、十分な聞き取りを行い、説明し同意を得ています。	引き続き現状を維持していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	保護者のお話をよく聞いて、その方のニーズにあつた対応ができるようになっています。必要に応じて面談や電話、メールで対応しています。	引き続き現状を維持していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者会を行い、保護者同士の交流や情報交換ができるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	職員ですぐに情報共有をし、相談をしてから対応するようになっています。対応については上司に報告を行い、全職員統一した対応ができるようになっています。また、改善策についても、利用者、保護者にお伝えするようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月に一度サニーサイドを発行し、毎週末ブログをアップしています。定期的に行事予定や利用者の様子を保護者に発信しています。	引き続き現状を維持していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報などが記載されているものは鍵付きロッカーに保管しており、施設外に持ち出さない事を徹底しています。破棄する書類はシュレッダーを使用しています。	引き続き現状を維持していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	メールや電話、面談など様々な形で利用者の様子を保護者へお伝えしています。	引き続き現状を維持していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	秋祭りを開催時には、数か月前からポスターを掲示して地域の方も参加できるようにしています。	引き続き現状を維持していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各対策マニュアルを全職員が周知し、実際を想定して訓練を行っています。保護者には、避難場所、感染対策などお手紙で配布したり、メールで周知しています。	引き続き現状を維持していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	業務継続計画を策定し、想定に合わせて避難訓練を毎月行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	施設の利用開始の際に保護者にお聞きして、記録しています。また、てんかん発作のある利用者には保護者と相談をしてその方に合わせた対応マニュアルを作成しています。	引き続き現状を維持していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	施設の利用開始の際に保護者にアレルギーについて確認をしています。調理のプログラムがある場合は事前に使用する食材をリストアップし、改めて保護者の承認を得てから実施しています。	引き続き現状を維持していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を職員で周知し、研修を行っています。	引き続き現状を維持していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	利用者の様子を保護者にこまめに連絡し、必要に応じて施設でできる対応を保護者と相談しています。	引き続き現状を維持していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットが起きた際には必ず記録に残すようにしています。気になる事があれば、職員間で共有した上で、再発防止に向けた対策を話し合っています。	引き続き現状を維持していきます。

非常時等の対応	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待に関する研修を行い、職員間で周知徹底しています。	引き続き現状を維持していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	未記入1 現在、身体拘束が必要な利用者はいません。	引き続き現状を維持していきます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家魚住中央放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年8月8日	～	2024年8月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年8月8日	～	2024年8月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の方が高校生のため、同年代との関わりが多く持てる。	法人内に同じような施設が多くあり、交流を持つこともある。活動内容が異年齢向けというよりは、同年代ならではの活動になるように工夫しながら取り組んでいる。	同年代が集まることにより生じる問題に対して、利用者を複数の職員で見て状況を把握し、今後の対応を検討していく。また、利用者から相談を受けたり、変化に気づいたりしたときは、職員で情報共有し、保護者に連絡を入れることを徹底する。
2	法令で決められている職員配置より多く職員を配置している。	職員を多く配置することで、より利用者にきめ細やかに支援することができる。毎日利用者の様子を職員間で共有し、行った支援について反省をし、今後の支援について検討し、活かしている。	利用者や保護者の課題に対して全職員で話し合い、様々な意見を出し合い、検討している。 色んな資格を持った職員が在籍しており、職員同士刺激し合える環境であるため、今後も取り組んでいきたい。
3	地域活動として秋祭りを開催したり、定期的に通信やホームページ・SNS等で情報を公開し、より多くの方に施設について知ってもらえるようにしている。	年に一度秋祭りを開催し、地域の方にも来ていただけるように案内をしている。また、週に一度のブログ更新や月に一回、紙面のサニーサイドを更新し、写真を交えながら情報発信を行っている。	今後も引き続き、通信（サニーサイド）や、ブログの内容をより詳しいものにし、写真も充実させることによって、視覚的に施設の様子が伝わりやすいようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設がバリアフリー化されていない。	利用者は全員高校1年生から3年生の方で、マンションの一室であるため、多く活動のスペースが狭く感じることもあるようである。また、日々のカリキュラムによっては音や動きに制限がある場合もある。個別の対応が重なってしまったときの場所の確保も課題である。	施設の物品の整理整頓を行う。内容に応じて机の配置を工夫し、なるべく広いスペースで活動できるように工夫していく。個別の対応が必要になった場合は、日頃から相談や連絡を取りながら、同じマンション内にある施設に協力してもらい、場所を提供していただく必要がある。
2	同年代との関わりが多く、異年齢の関わりが少ない。	高校生ということもあり、近くにある他の放課後等デイサービスを利用する子どもたちと年齢が離れていて交流を持ちにくい。また、施設内でカリキュラム活動が完結していることが要因だと考えられる。	地域との交流行事として、秋祭りを開催している。その際に他の放課後等デイサービスの方や地域の方にも来ていただき、交流が持てるようにポスター等を使って引き続き宣伝をしていく。
3	保護者会の参加人数が少ない。	保護者も働いている方が多いので保護者会参加が難しいようである。ペアレントトレーニングに関しては、自力通所のため保護者と顔を合わせてお話しする機会が少ないことが要因と思われる。	年に複数回の保護者会を設定していく。ペアレントトレーニングに関しては、日頃から情報共有や困ったことなどを相談して頂けるように、電話、メール等を通して密に連絡を行っていく。専門職が対応する機会も検討していく。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		波の家魚住中央放課後等デイサービス							公表日 令和7年2月1日
		利用児童数 16名					回収数 13名		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	5	0	1	休み時間に背伸びをするスペースが欲しい。	室内の配置を見直し、利用者が安全に活動できるスペースを確保できるよう努めます。また面談時などに施設内を案内するなど保護者に詳しく説明するようにしていきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	0	0		引き続き現状を維持した上で、職員配置について基準より多く配置していることを保護者により丁寧にお伝えしていきます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	4	1	1		より丁寧なアセスメントを心掛け利用者の特性に応じた情報伝達を行っていきます。建物の構造上バリアフリー化ができないため、階段の見守りや安全面を考慮した支援を心掛けていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	4	0	0		アルコール消毒、オスパン消毒など丁寧な清掃を行い、心地よく過ごせる環境をさらに徹底していきます。また、活動しやすい室内のレイアウトや掲示物なども工夫し、面談時にも保護者に周知していきます。	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	11	1	1	0		職員間で利用者の特性や性格などの情報共有を徹底します。保護者面談時だけなく、常日頃から情報を保護者に伝えていき、どのような支援が適切か検討していきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1	0	2		実施前に職員間で内容を協議することや、実施したプログラムを振り返り、支援内容として適切かどうか、検討し改善していきます。	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1	0	0		引き続き現状を維持した上で、面談等を通じて利用者や保護者との意見を共有し反映していきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	12	0	0	1		引き続き現状を維持した上で、利用者と保護者に内容の説明を具体的に行っていきます。また、新しい支援計画についても周知していただけるように努めます。	
適切な支援の提供	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	1		引き続き現状を維持した上で、利用者と保護者のニーズに合わせた計画を作成した上で、計画に沿った支援ができているか確認を行います。日頃の支援内容について引き続きしっかりと伝えています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	4	0	2		どのような目的で取り組むのかを周知していきます。プログラムの振り返りを行い利用者と保護者の意見を取り入れて、ニーズに合わせた活動ができるようにしていきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	3	3	3	未記入1 今後行われると思う。	秋祭りを開催したり、地域のだがし屋さんに行くカリキュラムを設けます。現在地域の子どもと交流する機会を設けていませんが、他施設で同学年の方との交流は行っているので、要望があれば実施していきます。	

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		施設見学時や契約時に契約書や施設の概要を示したファイルをお見せしながら丁寧に説明していきます。変更点があればその都度お伝えしていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1	0	0		書類等お見せしながら、より一層丁寧な説明を心がけていきます。必要に応じてメールや電話等でも説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	0	3	今後に期待したい。	定期的に保護者会やペアレントトレーニングを行い、保護者に情報共有できる機会を設けていきます。今後は年度はじめに年間計画をお伝えし、案内できるようにしていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	1	1		日頃から利用者のご様子をサービス提供記録を通じてお伝えしています。必要に応じて電話やメールでも細かな情報共有の機会を持ちます。また、保護者にあわせて連絡の頻度を増やしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	0	0		より一層面談の機会を持ち、子育てに関する悩みをお聞きする機会を持ちます。また保護者のニーズに合わせて支援できるよう情報を共有していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	1	0		電話やメール、サービス提供記録では肯定的なやり取りを心掛け、保護者のニーズに合った支援をしていき、より一層ご意見を傾聴していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	0	4		保護者会に来られた際は利用者の様子がわかるように具体的にお伝えしていきます。現在、きょうだい間での交流はおこなっていないため、要望があれば行っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	1	0		相談を受けたときは出来るだけ早く職員間で情報共有を行い、対応策を出しています。その上で保護者に相談体制が整っていることをお伝えし、必要に応じて相談窓口を設け、カウンセリング等必要な機関につなげていただけるように対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	1	0		メールや電話、面談など様々な形で利用者の様子を保護者へ伝達していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	0	2		定期的な更新についてお子様に口頭でお伝えし、保護者に案内メールを送っています。また、お伝え事項があればその都度利用者にお伝えしていきます。また保護者に対して書面や電話を通じてお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	2	0	0		引き続き現状を維持した上で、取り組みについてもう少し詳しく保護者にお伝えしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	0		引き続き現状を維持した上で、取り組みについて保護者にお伝えしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	0		引き続き現状を維持した上で、取り組みについて保護者にお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	0	0		引き続き現状を維持した上で、取り組みについて保護者にお伝えしていきます。また、マニュアルを用いて職員が徹底した対応を行っていることを保護者にお伝えしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	0		引き続き現状を維持します。災害時伝言ダイヤル等、保護者の方にも参加していただける取り組みも続けていきます。また、緊急時対応マニュアルに基づき、対応を行っていることを保護者にお伝えしていきます。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	3	0	0	通う距離が長く心配しましたが、とても楽しんで通っていて大変感謝している。	安心して通所できるように、利用者とコミュニケーションをとり、保護者とは電話やメール、サービス提供記録を通してやり取りをしていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	3	0	1		利用者が楽しみになるようなカリキュラム編成を心掛けます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1	1	0		引き続き現状を維持した上で、利用者、保護者、職員で支援の振り返りを行い、よりよい支援ができるようにしていきます。